

第37回日釣連グレ釣りトーナメント大会 3位 大阪府釣連盟 西 勲



2024年で大阪府釣連盟の会長を上山員生君に代わり、一会員として日振島で開催した日釣連グレトーナメント予選会に参加してもらい何とか大阪府釣連盟の代表選手として残る事ができ、10何年かぶりの日釣連トーナメントに参加しました。

久しぶりの参加でカッコ悪い試合はできないと少し緊張もしましたが初日のリーグ戦、1試合目兵庫の藤田選手と国分の波止



2 試合目三重の根間選手と堂崎の遊歩道
3 試合目京都の知場選手と赤灯台の根元で
対戦でした。1・2 試合は釣果出て勝つ事が
出来ましたが3 試合目にもなると以上に活
性も無くなりしんどい試合でしたがなんと
か3勝でリーグ戦を抜ける事が出来まし
た。



2 日目準々決勝は和歌山の中畔選手と只
波5 番で対戦、



試合開始から中畔選手がテンポよく釣っているのが見えタモ入れも2度しているのが目に入る、対して自分はあまりリズムに乗り切れない釣りで前半が終わり場所交代の時にポーターと審判に匹数も重さも負けていると言われ後半巻き返さないといい気合いを入れるが大きなチヌが出てきて完全にグレの反応が無くなりおたがいにチヌばかりが釣れる時間が続く。

終了10分前ぐらいにチヌが消え待望のグレが釣れた



このグレが決め手となり中畔選手7匹2260g自分8匹2775gで勝利する事ができた。



準決勝は和歌山の名人池田選手と10割での対戦言わずと知れた若手トーナメンター。ちょっと気合が入る前半自分はマサカ向き池田選手は鍋島向きで開始する。



スタートから活性がよくまあまあのサイズが釣れる、



鍋島向きの池田選手は型が小さい池田選手が鍋島初めてのポイントでわからないとの事で先端沖向きのポイントをおしえると容赦なく大きなグレを釣りまくる結局前後半減多打ちにされ試合が終わった。池田選手10匹4880g自分10匹3510gの大差で完敗。



又予選から出直してきます。



最後に変にお世話になった役員の皆さんはまざき渡船様そして沢山の商品を協賛して下さいましたメーカー様ありがとうございました。